

公開資料

2024年問題に対する当社の活動について

2025年3月7日

株式会社シャトレーズ

物流部

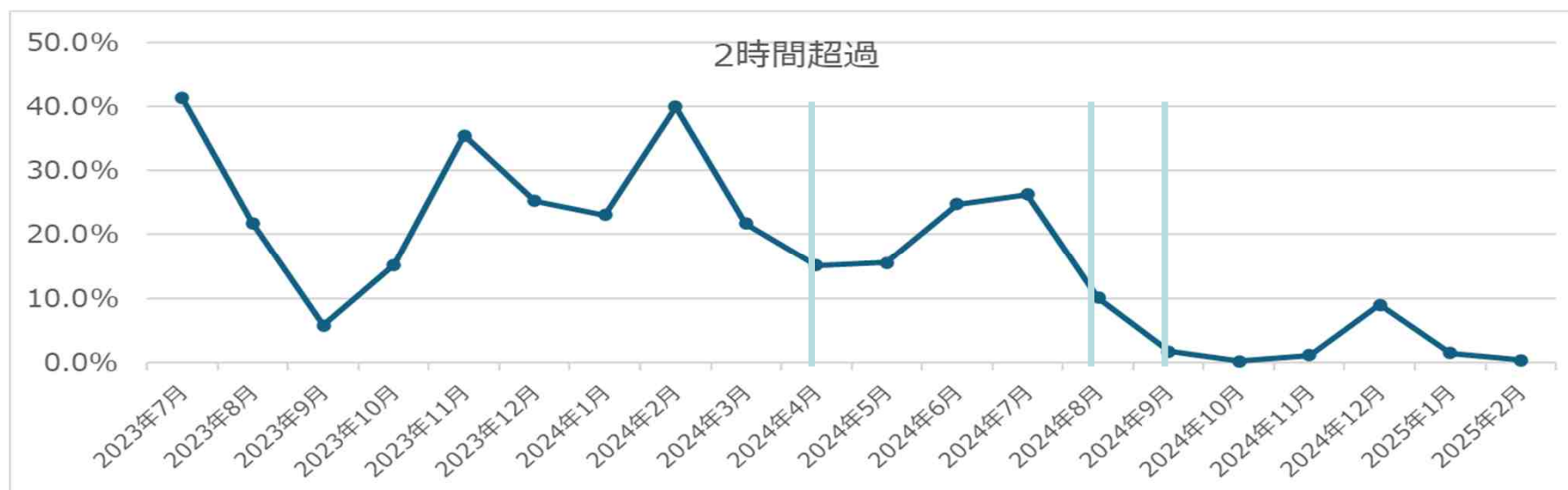


2時間ルールの実績推移とアクション



年	月	2時間ルール逸脱	年	月	2時間ルール逸脱	
2023	7	41.3%	2024	7	26.3%	定刻出発を実施
	8	21.8%	2024	8	10.1%	
	9	5.8%	2024	9	1.7%	入車時間の指示を実施 同時に社内目標値を 2.8%に設定
	10	15.2%	2024	10	0.2%	
	11	35.5%	2024	11	1.1%	
	12	25.3%	2024	12	9.0%	
2024	1	23.1%	2025	1	1.5%	
	2	40.0%	2025	2	0.4%	
	3	21.7%				
	4	15.1%				
	5	15.6%				
	6	24.8%				

2024年4月より外
部拠点への一部機
能移転&運用開始



□ 物流機能一極集中（山梨）から機能分散（首都圏センター新設）

→ 外部拠点への機能（車両含む）の分散

□ 入車指示時間の明確化

→ 乗務員の拘束時間短縮にも寄与

□ 荷が全て揃っていなくても定刻時間には車両を出発させる

→ 残貨は別車両にて対応（納期を1日遅らせるなど）

□ 啓蒙活動（待機時間＝コスト＆違反原因行為であること）

→ 関係者への周知、理解の浸透

□ GPSの導入（協力会社様に配布）

- 待機時間対策（拠点別の滞留時間把握が目的）
- 異常気象時の安全対策（動態監視）

□ 気象ツールの導入（協力会社様20社以上に配布）

- 異常気象時への対応
- 同じツールを元（根拠）に運行の可否を決定。当社は配送会社の運行管理者の進言を最大限尊重する、という考え

□ 海上輸送への切り替え（長距離）

- 総合効率化法計画の認定受領済み
- 積載率の向上を意識したもの

□ 乗務員の手による付帯作業の削減

- 「運賃とその他役務の分離」関連への対応
- 荷役時間の短縮を意識したもの

